



酪農試験場だより



No.126

南那須育成牧場の放牧風景



後継牛育成には公共牧場を利用しましょう。

- 飼料の低コスト化、
- 労働の軽減、
- 健康な発育

が期待されます。

酪農試験場における試験研究・事業の取り組み

場長 菅間道博

「酪農試験場はどこにあるのですか？」

「旧西那須野町の千本松です。」

「アア、あの400号線を塩原に向かって左側の…」

ムツとして

「それは畜産草地研究所（旧草地試験場）です。」

「うちはその反対側の…」

「アア、あの桜並木のところネ。わかりました。」

私は、牛群検定組合の総会など酪農家の皆さんと一緒に
なった時、こういった会話を何度かしています。酪農試験場はなかなか認知されませ
ん。影が薄い。頑張らなければ。これが今の私の正直な気持ちです。



昨今の酪農情勢は、家畜排せつ物法の本格施行への対応が一段落したのも束の間、
減産型計画生産、乳価の低迷、飼料の高騰と厳しい課題が続きます。
こういう厳しい時こそ、「初心に帰り、地道に経営内の基本技術のチェックを。」とも
言われています。

現在、酪農試験場では次の課題を中心に試験研究・事業をすすめており、これらの
成果・情報については酪試日より、各種研修会、酪試公開デーなどで逐次お知らせい
たします。

- ① 受精卵に係わる繁殖技術の開発
- ② 健康に有益な働きをするとされる共役リノール酸を多く含んだ生乳を生産する飼養管理技術の開発
- ③ コントラクター作業に対応する飼料作物の栽培技術の開発
- ④ 高能力乳用牛（スーパーカウ）受精卵配付事業
- ⑤ 自給飼料分析指導事業

酪農試験場では今年度、バイオガスプラント、フリーストール牛舎（80頭規模）の
建設がある一方、南那須育成牧場の閉鎖と大きな動きがあります。

今後とも酪農試験場は、情勢変化や時代の要請を的確にとらえ、試験研究・事業の
「選択と集中」を図り、酪農家の皆様の役に立つ成果・情報を積極的に発信し、冒頭
の会話が繰り返されないよう職員一同努力してまいりますので、より一層のご支援を
お願いいたします。

ET技術で「スーパーカウ」の効率的増殖

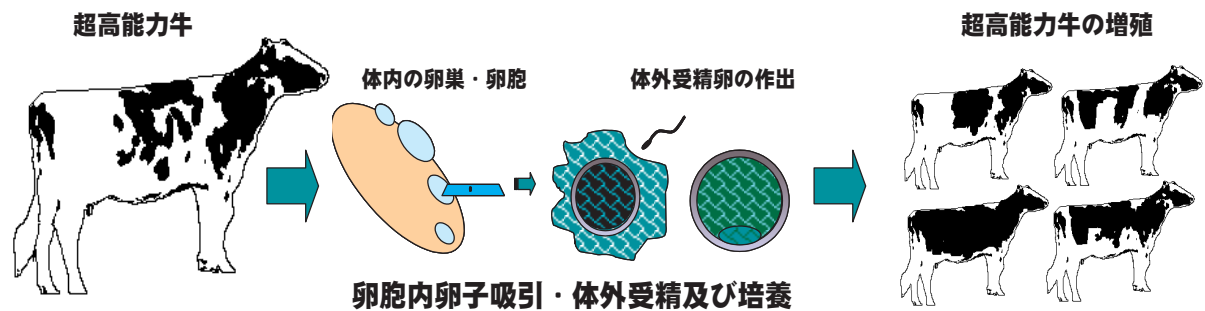
飼料価格の高騰をはじめとし、酪農経営を取り巻く情勢は厳しい流れとなってきていますが、こうした現状の中では、基本に返り、搾乳牛1頭、1頭的能力を正確に把握し泌乳能力、乳房、肢蹄の強健性等に関する遺伝的能力（育種価）を着実に向上させ、生涯生産性や生産寿命を高め生産コストを削減し経営体質の強化を図ってゆくことが重要と考えています。

酪農試験場では、平成5・6年及び平成13・14年度の2度にわたり乳牛改良の先進国と言われているアメリカ、カナダから優良な血統を引き継ぎ遺伝的能力の高い乳用牛「スーパーカウ」を導入しました。いずれも生産性と体型の両面の能力がトップクラスのいわゆる「ハイインデックスカウ」です。

この中には、カナダを代表する「ジブシーグランドファミリー」の「ブラエーデル ジブシー グランド（カナダ カウ オブ ザ イヤー2003受賞）」の母牛もいました。下の写真は、その娘に当たる「マロニエ ムーンリバー ジェド ET」ですが、平成14年度第34回栃木県BWショーにおいて、グランドチャンピオンを受賞しました。

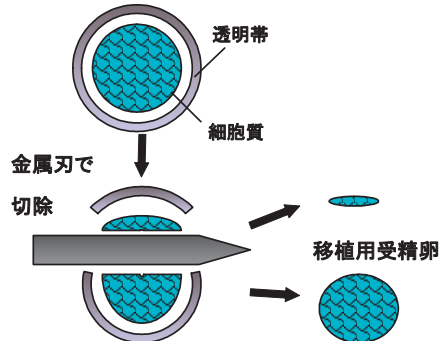
生物工学部では受精卵移植技術を基本として、性判別技術、生体卵子吸引法（OPU）による体外受精技術、受精卵の超急速凍結保存法（ガラス化保存法）等を用い、ハイインデックスカウの増殖を行っています。スーパーカウドナー群の充実を図り、県内酪農家に遺伝的能力の高い受精卵を広く供給することで、乳用牛の生涯生産性や生産寿命を改善し、このことにより、酪農経営のコスト削減が可能となり、安定した経営が継続すればと考えています。

技術のフローチャート



受精卵の性判別技術

- ・受精卵の一部を金属刃で切除
- ・切除したサンプルの遺伝子をPCR法で検査



マロニエ ムーンリバー ジェド ET
第34回栃木県BWショー グランドチャンピオン

（ 生物工学部 川野辺章夫 ）

粗飼料を分析します！

今後の分析受付月日

平成19年	7月	17日	(火)
	8月	21日	(火)
	9月	18日	(火)
	10月	16日	(火)
	11月	20日	(火)
	12月	18日	(火)
平成20年	1月	15日	(火)
		29日	(火)
	2月	12日	(火)
		26日	(火)



★ 飼料分析の内容

1 一般受付

- (1) 成分分析 水分・pH・CP・DCP・TDN・CF・Ca・P・NDF
- (2) 硝酸態窒素 (希望者)
- (3) 給与診断 (希望者)

2 共励会の受付

一般受付の分析項目の他に フリーク評点 (有機酸分析)・VBN比・官能検査

★ 必要なもの

- (1) 分析する粗飼料 (サイレージは約1kgを袋に密封)
- (2) 申請書
- (3) 給与診断希望の場合は給与実態票
- (4) 硝酸態窒素分析希望の場合は硝酸態窒素分析依頼票

★ 分析できる粗飼料(サイレージ)

- (1) とうもろこし単播
- (2) イタリアン単播
- (3) イタリアン+麦混播

★ サンプルの採り方

- ・ロールベールサイレージは縦置きの中を採取してください (外周近くではなく中間部)。
- ・地下式サイロ及びバンカーサイロは、取り出し口から50cm掘って採取してください。

★ 料金

サンプル 1点につき
1,300円
(栃木県証紙)

★ その他

不明な点、ご意見、ご要望等は、酪農試験場または最寄りの農業振興事務所までご連絡下さい。

酪農試験場だより No.126 平成19年6月25日発行
栃木県酪農試験場 〒329-2747 那須塩原市千本松298
TEL 0287-36-0768 FAX 0287-36-0516

ホームページ: <http://www.pref.tochigi.jp/rakunou-s/index0.html>